

## BP速報

## メルカリが研究開発組織、シャープや東大などと連携

2017年12月27日 6:00



スマートフォン向けフリーマーケットサービスを運営するメルカリが研究開発組織を設立した。組織名は「mercari R4D」。東京大学やシャープなどと共同で、無線給電を活用することでコンセントを排したオフィスや、8K映像を利用した遠隔地とのコミュニケーションサービスなどの実用化を目指す。投資額は「2018年は数億円」（メルカリ代表取締役会長兼CEOの山田進太郎氏）。



メルカリ代表取締役会長兼CEOの山田進太郎氏

共同研究する大学や他企業の基礎研究や応用研究の成果をmercari R4Dが実サービス化できるまで落とし込む。同社のCPO（Chief Product Officer）の濱田優貴氏は、料理ロボットを例に出して「採算度外視で、ロボットが料理するレストランを実装し、実際に営業して世間の反応をみるようなことをしたい」と語る。

研究テーマは、無線給電や8K映像通信の他にも、ブロックチェーンや深層学習、量子アニーリングなど多岐にわたる。シャープと東京大学以外の共同研究先は筑波大学、慶應義塾大学、京都造形芸術大学、東北大学。テーマは今後も増やしていく予定である。